

放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024年1月25日
夢門塾ゆうゆう笠岡2組	

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	2	3	1	運動ルーム使用時は混雑しないよう子どもをグループに分けています。また、自由時間には自由ルーム・運動ルームに活動場所を分け分散させたり、机を視覚的な区分けのために活用しています。
	② 職員の配置は適切である	6	0	0	法的な人員配置基準を守っています。
	③ 衛生面の管理が行き届いている	5	1	0	朝夕の決まった時間に清掃を行っています。消毒も意識的に行っており、玩具等を口にした子がいた際にはすぐに消毒しています。今後も定期的な消毒を徹底して行っていく。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0	日々の支援後や朝のミーティングで振り返りをし、改善点を話し合い職員全体で取り組んでいます。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	毎年アンケート結果をまとめ職員間で共有し、業務や支援の改善に努めています。
	⑥ 自己評価の結果を公開している	6	0	0	書面とホームページにて公開しています。
	⑦ 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6	0	0	毎朝ミーティングを開き、前日の支援の反省や今後の支援の方針について話し合っている。また、毎月開かれてる研修に参加し資質向上に努めている。
適切な支援の提供	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	0	0	毎年保護者様にアセスメントシートを提出していただいている。半年毎にモニタリングにて家庭・学校の様子を聞き、事業所での様子と照らし合わせてスマールステップの目標を設定している。
	⑨ 活動の計画をチームで行っている	6	0	0	楽しい活動・経験ができるよう職員全員で企画を出し合いイベントを計画している。相談しやすい環境作りに努めており、計画・準備・運営もサポートしあうことができている。
	⑩ 活動の計画が固定化しないよう工夫している	6	0	0	過去の活動計画を参考にし、新しい企画を入れている。また、活動の目的を色々な視点から考えることで、多様な活動内容になるようにしている。
	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6	0	0	休日・長期休暇では活動時間の長さを活かして外出する活動を積極的に入れている。調理実習や昼食のテイクアウトといった体験・経験を重視した活動も企画している。
	⑫ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	6	0	0	集団活動を基本とする中で、仲の良い友達と組み合わせる、職員と一緒に参加を促す等、個にあった参加の仕方を考え実践している。個別活動も状況に応じて組み合わせて行っている。
	⑬ 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	毎朝のミーティングで確認を取っている。
	⑭ 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	個別に特記事項に日々の記録を残している。また、翌朝のミーティングで情報を共有し偏りをなくし、職員の支援の検証、反省を行っている。
	⑮ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	半年ごとにモニタリングを行っている。計画案作成を見発管を中心に職員の意見も聞きながら行い、保護者様とのモニタリング内容と照らし合わせて必要に応じて見直しを行っている。
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	0	0	ガイドラインに目を通し、支援に活かしている。

関係機関、保護者様との連携	⑪ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	6	0	0	送迎時に学校での子どもの様子を教えていただいたり、支援の共有を行ったりしている。下校時刻が通常の予定と異なっている場合には連絡を取り確認を行っている。
	⑯ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	4	2	0	必要な場合にはケース会議で密な情報交換をしている。
	⑰ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	0	6	0	移行対象となる利用者が今現在おられない。
	⑲ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	0	自立支援協議会や相談支援事業所、子育て支援課、教育委員会と必要に応じて連携している。
	㉑ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6	0	0	連絡アプリのコドモン、連絡帳を用いて日々の活動の様子をお伝えしている。送迎時に必要に応じて家庭の様子や保護者の困り感等をお聞きしている。また、専門機関を受診時、子どもの利用の様子を文書にてお伝えし、検査結果報告書を確認させていただいている。
保護者様への説明責任等	㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	契約時に丁寧に説明を行っている。質問も適宜受け付けており、適切に対応を行っている。
	㉓ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6	0	0	相談を受けたら詳しくお話を聞き、家庭でできる事、事業所でできる事を提案し実地している。送迎時等でその場での回答が難しい場合は持ち帰り、職員全体で共有した上で返答をしている。
	㉔ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	6	0	0	今年度より保護者会を再開。また、保護者交流会「夢カフェ」も実地し、保護者同士の会話の時間を設けた。
	㉕ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	子どもや保護者からの苦情があれば、迅速に対応し、必要に応じて相談支援専門員を含め対応している。また、苦情対応体制は整備している。
	㉖ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6	0	0	毎月、お便り・月間行事予定表の発行、またブログにて情報発信している。
	㉗ 個人情報保護に十分注意している	6	0	0	個人情報の載った資料は保管を徹底し、知りえた情報を職員間で共有するときにも漏れることのないよう注意を促している。写真の顔出しに許可が出ていない子を名簿で管理し、会報等を作成時には2人以上の職員で確認を行っている。
	㉘ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	視覚情報が優位な子どもの為に、室内の構造化、視覚支援をしている。また、保護者へ口頭でお伝えするだけでなく、管理のためメモも合わせてお渡したり、お知らせを書面にする等の配慮をしている。
	㉙ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	1	5	0	地域行事への参加を今年度は行えなかつたため、地域の情報を収集し参加ができるようにしたい。また、ゆめカフェを地域にも開かれた形で運用を行いたい。
	㉚ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	6	0	0	各マニュアルを策定し、すぐに確認できるところへ掲示する等して周知している。
非常時などの対応	㉛ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	6	0	0	年に2回、地震と火災の訓練を行っている。全児童生徒が参加できるよう1週間内で実地日を振り分けて行っている。
	㉜ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	会社での虐待防止の研修に毎年参加している。
	㉝ いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	6	0	0	契約時に保護者へ身体を拘束する行為は基本的には行わず、安全の為必要があれば行う旨を説明をしており、一時的にでも身体を拘束したときがあれば、その状況を詳しく様子をお伝えしている。
	㉞ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	6	0	0	与薬表の配布や連絡を保護者へしている。授与時にも記録を取り、保護者へお伝えしている。
	㉟ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	5	1	0	毎月ヒヤリハットの事例を職員各自で提出をし、ミーティング時に職員間で共有している。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

今年度も支援に満足していただいた方が多く、また、ありがたいお言葉をいただき嬉しく思います。これからも職員間でしっかり話しあい、子どもたちの成長へ繋がる支援ができるよう努めてまいります。また、今年度は保護者会を久々に開催でき、保護者様の悩みを共有できる場を設けることができました。一方で時間が限られ参加ができなかつたお声もいただいたので、来年度はより開催の幅を広げて行うことができればと思います。

そして、自事業所を振り返り、地域に開かれた事業所となることが課題であると感じました。外出をする機会も増やしているので笠岡や近隣の地域の行事への参加を企画したり、今年度よりスタートしたゆめカフェを地域の方へも開放したりと、地域との関わりを大切にする事業所を目指したいと思います。